国保だより

医療費節約にご協力を！

厚生省発表の、五十八年度政管健保の医療実態概況によりますと、老人保健法の施行で老人の受診率は下がっておりますが、医療費は逆に増加し、全体でも十%近く昇びて、前年に対し急増している状況となっています。

幸いにも、当村においては昨年に引き続いて、医療費は良好な状態にあります。

過去、国保税の負担が前年比、一世帯当り三十%以上も引き上げられた年度もあったように、医療費はゆだんするとどんどん増えていきます。

国保制度の目的は困ったときには、みんなで助け合う、相互扶助のもとで、運営されております。この制度が健全に運営されてゆくように医療費を正しく、適切に使うことが必要となっています。

むやみやたらにお医者通いをしていないか、あるいは、次々とお医者を変えていないか、自分から、くすりや注射を要求したりしていないか、このようなことがありますと、それは、大切な医療費をムダに使い、国保財政をピンチにし、保険税の引き上げとなり、皆さんの負担増を招きます。

今後とも良好な医療費状態を保ちますように、皆さんから、医療費節約のご協力をお願いします。

■寄附金を頂戴

「みずほ会」より五千円の御寄付をいただきました。

去る十月「やすらぎの家」を訪問の折、慰問金として使用させていただきました。

ありがとうございました。

木村・高木さんに優良賞

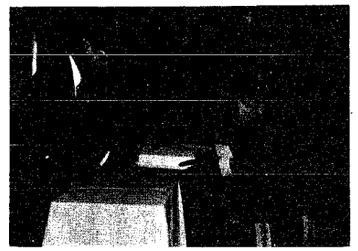
白根地域枝肉共進会

中東蒲原農業改良普及所白根支所管内の五市町村の関係機関、団体のもとで第三回白根地域枝肉共進会が新潟日報社などの後援で開催されました。

この共進会は、家畜の改良増殖と畜産の健全なる発展を図るとともに、生産者が技術・知識を研究し、畜産振興に寄与することを目的に過去の個体審査から枝肉審査へ変更して行なったものです。

新津枝肉センターに搬入される肉豚は、養豚農家御自慢のものばかり、審査員も気を引き締めての審査でした。

この中で本村からは木村大八郎、高木嘉夫両氏が第2部（四月、七月、十一月、それぞれ四頭ずつ計十二頭を審査）に出品し、見事優良賞を獲得また、中央地域家畜衛生協会長賞も二人に贈られました。



＝写真＝

研修会に参加して

西萱場　佐藤　耕治

本年四月、巻保健所並びに村当局の御配慮により、私共家族共通のなやみを持った者の集まり「ありの実会」が発足し、今までに研修会等を行い親睦をはかる迄となりました。

去る八月は、障害をもたれた方々が社会復帰を願って、洋食器等の箱を作っている通所作業所を見学いたしました。

「角田の里」と称し小さなプレハブの建て物の中で十五～六名の方が、保健婦さんと所長さんのもとで一生懸命に作業にあたっておられました。

当日は、村議会の代表の方々にも同行いただきました。

社会復帰のきびしさを感じましたが熱心に努力している姿をつぶさに拝見することができました。

同じ日「コロニー白岩の里」にも寄せていただき、子供達の一途な姿に接して新たな勇気がわいてきました。

十一月八日は、郡の福祉大会が吉田町で、翌九日は全国精神衛生大会が新潟市で開催され、私共の会員も多数出席いたしました。

新潟市で開催された全国精神衛生大会は二千五百人参加の大きな大会で、講師は作家の水上勉氏と、東京慈恵会医科大学名誉教授の新福尚武氏でした。

水上氏は、幼少の頃の御自身の話と、教壇にたたれた時の障害をもった教え子に「人間としての姿」を見い出されたこと、障害をもった子供達の「生きる姿」は「仏」でもあるとうったえられ、切実なものがありました。

とかく社会から見はなされようとしている障害者をもつ家族の今後の取組みや指針を与えられ勇気づけられました。

これからも私共は苦しく、つらくても力をあわせ困難を克服して行かなければならないと思います。

皆様方の御指導をよろしくお願いいたします。

大字月潟部落知事表彰受賞

河川愛護に功績

県は、昭和五九年度の河川愛護運動の一環として、河川海岸の愛護に功績のあった団体（個人を含む）の表彰を11月30日に行いました。

今年度は県内二団体が表彰されましたが、このうち、当村大字月潟部落は、毎年六月の月潟祭り（角兵衛地蔵祭礼）の前に地区内の堤防約千三百メートルの区間を部落を挙げて除草と病害虫の防除を行い、河川の美化と環境衛生の向上に貢献してきたことが認められ表彰されました。

この除草、防除は戦前から続けられており、長年にわたる功績が認められたものです。おめでとうございます。

◀お喜びの登石総代、深沢副総代の両氏

■保護司を委嘱

十月二十五日付で、本村の保護司として法務大臣より、野内藤枝氏が委嘱されました。

保護観察に付され更生の道を進んでいく方々に、お力添えをいただきます。

皆様方の御支援、御協力をお願いします。

一位に下曲通支部

59年度梨せん定競技会

去る11月29日月潟村農業振興協議会主催による二十世紀梨せん定競技会が、西萱場の佐藤誠一さんの圃場で、開催されました。＝写真＝

川前の5支部5チームが参加し競技はチーム毎に永久樹であることを前提にした木を制限時間内に仕上げますせん定を行ない、その技術を競い合うもので、その審査には、中東蒲原農業改良普及所白根支所・農協・共済・役場の担当者が行ないました。

審査の結果は次のとおりでした。

一　位　下曲通支部
二　位　月　潟支部
二　位　上曲通支部
三　位　大別当支部
三　位　西萱場支部

最後に、審査委員長であります、中東蒲原農業改良普及所白根支所の松田課長より「梨の整枝せん定技術は年々向上して来ており、これからは、共同せん定により地域のレベルアップをはかり、月潟村の果樹を振興してほしい」との講評を受け本日の競技会を終了しました。

曲通地区と月潟ブルボンを指定

新潟県では本年度から三年間、シートベルト、ヘルメット着用推進モデル地区として「曲通地区」と「月潟ブルボン」を指定いたしました。

（写真は下曲通地区に設置された推進立看板）

村民の皆様におかれても、シートベルト、ヘルメット着用で人身事故を防止しましょう。

「思春期のこころとからだ」相談窓口を開設

思春期は、人間一生の間で身体面及び精神面において発達の変化が最も大きい時期となっています。

思春期の不安や悩みを解消し、青少年の健全化に寄与することを目的に、このたび思春期の男女及びその保護者を対象に「思春期のこころとからだ」相談窓口を、（社）新潟県助産看護協会が開設いたしました。

悩みをお持ちの方は、お気軽にご相談ください。専門的知識を有する医師、保健婦、助産婦、精神衛生相談員、臨床心理員等が相談に応じます。

○相談日時
毎月第二土曜日と第四土曜日の午後二時～五時まで

☎○二五二―六六―八八四四

※面接会場は新潟市川岸町二丁目十一番地県助産保協会（ガンセンター上手となり、道路奥）へ。